

- (113) 落雷した電柱は虫齧どめになる  
 (114) そばを食べてすぐ風呂に入ると中風になる  
 (115) 桑の根は中風の良薬  
 (116) とろろ汁を食べた茶わんで湯をのむと中風になる  
 (117) 墓石にできるコケを煎じてのむと梅毒を治す  
 (118) 淋病にうじ虫がよい  
 (119) 人骨又は腦みそは梅毒によい  
 (120) 地獄藁麦の煮田汁をのむと淋病が治る  
 (121) 腫れものをちらすのに水仙の根をすつてつける  
 (122) 赤犬の肉は痿小便の薬  
 (123) 足がしびれたとき指先で額につばを三回つけると治る  
 (124) さんきらいの根は吐血の薬  
 (125) 溢死した人の繩を黒やきにしてのめば精神病が治る  
 (126) 井戸端に南天を植えておくと病人は出ない

#### (四) 農業に関する迷信

- (1) 種播きが終らなければ里芋を食べてはいけない  
 (2) 昔の神社、墓地等の跡を耕地として耕作すると災難が起る  
 (3) 二番穂の米を食べると中風にならぬ  
 (4) 苗代に種を播いた日に風呂をたてると種が失せる  
 (5) 鶏糞を肥料として使った場合其の作物から取った物を食べると不具者になる  
 (6) 春の西風が多い年は夏大水がある  
 (7) お釈迦様の日迄田を耕やさなくておくと一人で田耕がやせる  
 (8) お釋迦様の日に土にふれない  
 (9) お梅みお産見舞等に立寄つた人は田植をしない  
 (10) 里芋甘藷に花が咲くと凶事が起る  
 (11) 七夕様の竹を畑にさしておくと作物がよく実る  
 (12) 家により栽培できない作物がありそれを作ると家に凶事が起る  
 (13) 蒔いた種子の芽が出ない時又間違つて種子をまかなかつた時など親族に不幸が起る又誤つて耕作すると人が死ぬ  
 (14) 梅の花が多い時は梅雨に雨が多い  
 (15) 雨の多い年は小豆が豊作  
 (16) 田植の時植えた田の上を苗を起すと人が死ぬ  
 (17) 天の川が眞上に来ると豊作である  
 (18) 苗を尻合せに植えるとその家に不幸があるという  
 (19) 川柳が上部より発芽すればその年は早稲が豊作中

部は中稻が豊作下部は晩稻が豊作

- (20) 苗代に萬能を入れてはならない  
 (21) 雨乞をする時はおびんずる様を出してまんだら祈禱をすると雨が降る  
 (22) 兎の年は米が取れる  
 (23) 生姜を作ると病人が断えぬ  
 (24) うどんげの花が咲く年は凶作  
 (25) 柿の良く実る年は合風が多い  
 (26) 種は奇數日に蒔かないで偶數日に蒔く  
 (27) モチ米の苗は偶數日に植える  
 (28) 農村の祭日に堆肥下肥を使用してはいけない  
 (29) 屋敷内にブドウを植えないつり下るから藤も同様  
 (30) 死人のあつた家より種子又は苗をもらわぬ

#### (五) 漁業に関する迷信

- (1) 出漁する場合弁当に梅干を使用すると不吉な事が起る  
 (2) 海亀があがつたら酒を飲ませて放せば、大漁又は海で災難に合はない  
 (3) 鰯雲が出ると鰯が沢山とれる  
 (4) 船がかへると言う云葉を諷うもどると云う  
 (5) 出漁の時女は船に乗らない  
 (6) 漁をするとき船におすの三毛猫をのせその猫が耳の上から顔を洗うと明る日雨となる  
 (7) 正月及盆に船を出して漁をすると歸れない  
 (8) 漁に出て猿の話をすると不漁  
 (9) 溺死体を流すと不漁になる  
 (10) 出産があつた場合三日を経過せねば乗船をきらう  
 (11) さる廻しが船主の家に入ると不漁  
 (12) 漁業は魚類の生命をとる殺生者で不具者が生れる  
 (13) 水死人等を喜んで引揚げてねんごるに用うと大漁になる  
 (14) 女が漁師の道具をまたいだときは出漁をきらう  
 (15) 魚の眼に串をさして焼くと不漁になる  
 (16) 葬式に用いた用具で漁業の用具を作ると漁があたる

#### (六) 妖怪に関する迷信

- (1) 人間が死亡して四十九日目に靈魂が飛ぶ  
 (2) 青い火の玉が夜空にとぶと人が死ぬ  
 (3) 身内の者が死ぬと下駄の足音がするとか戸をたたくとか云う  
 (4) 人の変死した場所から幽霊が出る

- (5) 火の玉は死んだ人が化けるそれが胸につくと死ぬ
- (6) 死んだ人の魂が蝶になつて訪れる
- (7) 死者の棺の上に双ものを置かないと霊があばれる
- (8) 八畳間に一人でねると化物が出る
- (9) 歯の生えない赤ん坊を山へ連れて行くときは狐にとられない様に赤ん坊の顔を黒くぬる
- (10) 死人の上を猫が越えると死人が立ち上る
- (11) 狐の嫁入りのあつた年は平和のあらわれだと云う
- (12) 貉狸の発する怪火がある
- (13) 貉狸狐等が化ける事及び化かす事等を信ずる
- (14) 猫は古くなると化ける
- (15) 屍体に猫がふれると必ず怪事が発生する
- (16) 猫が死んだとき可愛想だと云ふ言葉を使うと庭宅地内にお化となつて出る
- (17) 狐火は十五才までに見なければ見られない
- (18) 大きな火の玉が飛ぶと戦争が起きる又火の玉を見ると出世しない或は悪事がある

#### (七) 呪占いに關する迷信

- (1) 病氣は醫者よりも占をしてもらい其の指圖の薬の方が早く治る
- (2) 祈願によつて病氣を治す
- (3) 完教神佛の方で治す又灸点して治す
- (4) 家を建てる場合占いなどして方位をきめる
- (5) 坐女によつて死者の靈をよんで占う(モリコ的事トランプで占う)
- (7) 天氣を下駄で占う
- (8) 祈り釘を打つて他人を殺すことが出来る
- (9) お光様を信仰すれば薬はいらない
- (10) 有名な神社佛閣の手洗水で病氣を治す
- (11) 天理教を信仰して病氣を治す又天理教の水でなほす
- (12) 重病は薬より神社佛閣の百度参りの方がはるかに効果がある
- (13) 花祭りの水で眠を洗うと眼病がなほる
- (14) 墓場の水をのむと病氣が治る
- (15) 「わか蝶」を呼びよせて失くなつたもの死んだ人等を占う
- (16) 盗難品等みつける時等占による
- (17) 成田不動尊で占うとよく當ると醫者より先に訪れる
- (18) 姓名判断で通称を變へる
- (19) 家難病難災難が重つて來る時又は長びく時等何かたたりがある等と云つて占つて貰う
- (20) 運勢と手相判断人相判断する又地相家相身上判断等をする
- (21) 御みくじ判断する
- (22) 金錢を落したとき易者に占つて貰う

- (23) こつくりさんで占う
- (24) 八卦の想を信ずる

#### (八) その他の迷信

- (1) 鳥の悪口を云うと口がたぐれる
- (2) 鳥が低い所に巢を作つた年は大風がある
- (3) 鳥鳴きが悪いと葬式があり又人が死ぬ
- (4) 障子に鳥影がさすと客が来る
- (5) 鳥又は椋鳥を取つて食べると家に不具者が出來又鳥は佛の道案内だから不思議事を予言する
- (6) 黄金虫をとると金持ちになる
- (7) 朝ぐもがさがると其の日は良い事があり夜ぐもが下ると盗人が入る
- (8) 蜂が高い所に巢を作る年は大水がある
- (9) 縁の下にがま蛙が入ると病氣(病人)がたえない
- (10) 家の主蛇を殺すとたたりがある
- (11) 蛇の交尾している姿を見た人には不幸がある
- (12) 蛇を指さすと指先がくさる
- (13) 白蛇に逢うと縁起が良い
- (14) 猫のかけ込みは不運が續くから猫を置くものではない
- (15) 宵時鶏が鳴くと火事がある
- (16) 猫を殺すと化けられる又七代たたる
- (17) 猫に油を吞ませると八代たたる
- (18) 猫が耳をかけて顔をなでると雨がふる
- (19) 犬の遠吠は死人火事を知せる
- (20) 牛を殺すと八代たたる
- (21) 馬を殺すと七代たたる
- (22) 馬を焼死させれば家が建たない
- (23) 馬や牛は家の藪の出入口から出入させるものではない
- (24) 朝の仕事にサルと話をするとその日の中に大ケガをする
- (25) 山へ漁具を持つて行くときつねに化される
- (26) 狐をいじめると出産の時赤坊をいたづらされる
- (27) 朝飯に一杯しか食べないときつねにだまされる
- (28) 或る部落により白い動物を嫌う(胸形神社がありその神の馬が白いので白い動物を嫌う)
- (29) 家禮で白い家畜を飼養出來ない家がある
- (30) 室内に憂曇華が咲くと病人又は死人が出來る
- (31) うどんげの花がさくと凶事あり
- (32) 海に蛇をなげると海が荒れる
- (33) 天に昇る夢を見ると成功する
- (34) 夜が明る夢を見ると病氣が早く治る
- (35) 蛇の夢を見ると金が入る
- (36) 田畑を耕す夢は家業繁盛の兆
- (37) 夢判断する(一フジニタカ三ナスビ)
- (38) サルの夢を見ると凶また三年後に死亡する

- (89) 齒の抜けた夢は不吉  
(40) 朝夢は正夢  
(41) 目出たい夢をみたときは凶  
(42) 夢で火事の消えるまで眠っていると災がある  
(43) 大事にあつた夢をみると病氣にかかる  
(44) 盗賊においかげられる夢を見ると凶事にあう  
(45) 慧星が出るのと戦争が始まる又凶事が起る  
(46) 月の近くに星が出ると人が死ぬ  
(47) 三日月の平な日は天氣が悪く立つた日は天氣がよい  
(48) 片見月は不吉の兆  
(49) 雷がなるとき線香を立てると落雷しない  
(50) 地震の時刻により天候を判知する(九は病五七は雨に四つひでり六つと八つとは風と知るべし)  
(51) ハツ手の葉をさげると悪い病氣にならない  
(52) 柿木から落ちると三年しか生きない  
(53) 南天を移植しその木が植えついた時家の主人に凶事がある  
(54) 頭に花をさすと親の死に目に逢えない  
(55) つつじの花が沢山咲くと雷が多い  
(56) 柿の種子を火に入れると目がつぶれる  
(57) 百合の花を家に入れると病氣が絶えない  
(58) 孟宗竹は寺以外に作らない  
(59) 椿の花をかんざしにすると早死する  
(60) 女の十九才三十三才男の二十五才四十二才は厄年といひ特に三十三才(女)四十二才(男)を大厄と云う  
(61) 二十二才は四(死)に通ずるため婚禮しない  
(62) 四つ違ひの人十違ひの人と結婚しない  
(63) 寝ている人をまたぐと背がのびない  
(64) 足の裏をくすぐると病氣になる  
(65) 髪の中の多い人は不幸である  
(66) 若白髪は金持になる  
(67) ほくろが首にある人は着物もちになる  
(68) ほくろが口にある人(口のまわりにある人)は食べるに困らない  
(69) 耳が大きく肉付のある人は金運があつて長命である  
(70) 目の下にホクロがある人は悪事が多い  
(71) 薬指の第一節より小指の長い人は親より良い暮らしをする  
(72) 頭をつむじが毛の生え際にある人は短命である  
(73) 小指の下に小さくはつきりした線があると丈夫な子が生まれ二本あると二子が生れる  
(74) 額の広い人は物質に恵まれ、せまい人は不幸、鼻の高い人は人を見下す  
(75) 寝ていて食べると早く死ぬ食べてすぐねると牛になる  
(76) 風呂の中で物を食べると食乏になる  
(77) 男女の双子は心中の生れ変りとして嫌う  
(78) 男の人の鼻血をふむと狂人になる  
(79) 人指ゆびに指輪をすると親に早く死別する  
(80) 筆で三つたたかれると三年しか生きない  
(81) 同年の人が死んだ時は餅で耳をふさぐ  
(82) 一服の薬をわけあつてのむと病氣が長びく  
(83) 寫眞をやぶるとその寫眞の人が死ぬ  
(84) 病室に四の敷を使用しない  
(85) つるを千羽おると病氣がなおる  
(86) 水に湯をさしてはならない  
(87) 茶湯で盪をすると不吉なことがおこる  
(88) 夜豆を食べるとお化けに遇はない  
(89) 朝茶は其の日の難を免れる  
(90) ところ、飯の茶わんで湯をのむと齒が生えない  
(91) 箸で物をはさみとりしてはいけぬ  
(92) 朝家を出る時縫物をするものではない  
(93) 下駄は午後はきはじめるものではない  
(94) 出がけに掃き出しはしない  
(95) 手拭では二人で手をふかない事  
(96) 手に針をさしたときはハサミではなく  
(97) 出がけに下駄の緒がきれると不吉である  
(98) 火事の時女の腰巻をあげると方向が變る  
(99) 夜口笛を吹くと蛇がでる  
(100) 足の毛をそると火事の時逃げられない  
(101) ザルをかぶると背がのびない  
(102) ザルをかぶるとくさが出来る  
(103) 馬の糞をふむと背が高くなる  
(104) うすの中に入ると背が低くなる  
(105) 手の長い人は手くせが悪い  
(106) 辰年生れは短氣卯年生れは溫和である子年生れは働き者である  
(107) 先祖代々より傳わる家を取りこわし新築すると主人又は家族の者が災難にあう  
(108) 神田を個人で耕作するとその家は滅亡する  
(109) 家庭内でだれかが死んだ時は神社に参拜しない  
(110) 墓でころぶと片袖を置いて來なければ死ぬ  
(111) 死人の着物は三人でぬい他人の着物は三人でぬつてはならぬ  
(112) 家神様の帰り道を塞ぐと大病になる  
(113) 佛の火を吹いて消さない  
(114) 爪をもやすと狂人になる  
(115) 柳の木から落ちると三年以内に死ぬ  
(116) 三人で寫眞をとると眞中の人死ぬ  
(117) 唇をまたぐとカマイタチにかまれる  
(118) 井戸とかまどは向き合うことをさける  
(119) 父の命日には何事にも氣をつける

【以下20頁に】